

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年 4月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40 (15)	食事が楽しみなものになるよう、利用者と職員が一緒に準備や片付けがあまり出来ていない。また歩いていける距離にスーパーなどがいないため、買い物にも行けていない。	利用者と職員が食事作りのための準備や片付けなどを一緒にする。また散歩を兼ねて、近くの農家に野菜を買いに行く。	食事作りのための下ごしらえを一緒にしたり、食器を並べてもらったり、盛り付けを一緒にするなど、出来る事を見つけていく。また散歩を兼ねて近くの農家に行き、野菜を買う。	12ヶ月
2	2 (2) ・ 3	今以上にもっと地域貢献をする。	地域に密着したグループホームとなる。	児童館の子供たちに向けて、認知症あんしんサポーター講座を開催する。また町内会に向けても認知症あんしんサポーター講座が開催できるよう働きかけていく。	12ヶ月
3	52 (1 9)	居心地のよい共用空間づくり 構造上の問題はあるが、2階トイレのしきりをカーテンからドアに変更できないか、改善を検討する。	2階のトイレのしきりをカーテンからドアに変更できるか、検討する。	業者に電話し、見積もりを取り、ドアに替えられるか検討する。 変更可能なら本社に稟議書を書く。 稟議が降りたら、改装工事をする。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。